

潮

第 41 号



明治大学校友会立川地域支部

明治大学校歌

児玉花外
山田耕作

作詞
作曲

明治大学校歌

白雲なびく駿河台
眉秀でたる若人が
撞くや時代の鐘
文化の潮みちびきて
遂げし維新の暁の鐘
明治その名ぞ吾等が母校
明治その名ぞ吾等が母校



esempio di battuta,

un minimo

二、

権利自由の搖藍の
歴史は古く今尚なほ
強き光に輝きけり
独立自治の旗舞し
高き理想の道を行く
吾等が健兒の意氣をば
が健兒の意氣をば
知るや

三、

靈峰不二を仰ぎつ
刻苦研鑽他念なき
我等に燃ゆる希望あり
いでや東亞の一角に
時代の夢を破るべく
正義の鐘を打ちて鳴らさむ

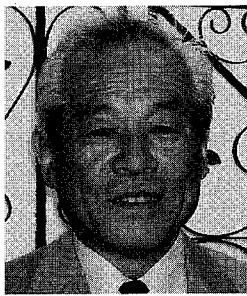
写真・明治大学校歌作曲者 山田耕作自筆譜

□■□ ■ 「潮」 第41号 目 次 □■□ ■

ごあいさつにかえて	立川地域支部支部長	橋本 直樹	2
立川地域支部の総会に寄せて	多摩支部支部長	安田 晉	3
「潮」第41号の発刊に際し	多摩支部幹事長	西山 強	4
「明大野球部よもやま話」	30年政経卒	橋本 直樹	5
平成26年度事業経過報告	立川地域支部幹事長	守重 芳樹	6
総会集合写真			11
第50回明治大学全国校友新潟大会に参加して	30年政経卒	橋本 直樹	12
	29年政経卒	小林 貞夫	12
	42年法卒	園田 滋夫	14
	34年法卒	渋田 幹雄	15
第45回明治大学マンドリン倶楽部立川演奏会	43年工卒	中島 尚二	16
第3回バーベキュー大会	38年法卒	大井 邦彦	20
第11回多摩支部総会に参加して	40年工卒	守重 芳樹	21
平成26年度日帰り旅行「先輩と供に神田・上野界隈回想」	42年法卒	粕谷 旭	23
〔会員だより〕山歩きに魅せられて	41年法卒	宮原 恒男	24
第10回「地域支部合同ゴルフコンペ」に参加して	平9年農卒	曹 信 虎	25
第11回「地域支部合同ゴルフコンペ」で優勝！	平2年商卒	石津 智志	25
第6回多摩支部主催「地域支部対抗ディスクゴルフ大会」に参加して	43年工卒	中島 尚二	26
東京六大学野球 秋季リーグ 明早戦 観戦記	多摩支部企画委員長	沼尻 哲	28
秩父宮でB Kの早稲田に完敗	多摩支部企画委員長	沼尻 哲	29

第51回全国校友滋賀大会への多数の参加を!!
明治は一つ びわ湖に集う紫紺の旗!
いざ 近江の國へ

日 時 平成27年9月6日(日)
場 所 大津プリンスホテル
講 演



ごあいさつにかえて

立川地域支部長 橋 本 直 樹

第47回立川地域支部の総会を迎えるにあたり、「潮」41号の発行及び年間の事業計画に尽力された役員、会員の方々に改めて感謝と敬意を表します。

校友会が目指すものは会員相互の親睦と地域社会への貢献が大きな目標であります。行事も予定通り進行して来ましたが、もう少し多くの校友に参加して貰えれば、より以上盛会になるので一層の協力を切望します。それには、組織の活性化、女性会員の増員等課題として今後に期待します。

今年は戦後70年になります。学徒動員で戦争に行かれた方々も年々少なくなりました。今日の平和を大事にして行かなければなりません。

昨年行われた第45回マンドリン倶楽部の演奏会は、支部役員・会員の皆さん的情熱で大変大勢の方々にご来館いただき盛会に開催することができました。有難う御座いました。

東北の大震災から4年過ぎましたが、復興にはまだ相当時間が掛かりそうです。当支部では

前回に続き今回も少しでもお役に立てればと、ご来場の皆さんに募金をお願いしました。又、支部有志で例年行っている社会福祉協議会への寄付と一緒に送らせていただきました。

誠に、有難うございました。

多摩支部も発足して12年になりますが、稲城地域支部が加入され、21地域支部となり全国で最大の支部となりました。

これからが楽しみです。先日、昭和記念公園内でおこなわれた第6回多摩支部主催のディスクゴルフ大会では、15地域支部73名参加者があり大盛会でした。

当支部では、10名の参加で団体戦準優勝し大変盛り上がりました。全地域支部が参加するようになれば、もっと素晴らしい会になるでしょう。

母校、多摩支部、立川地域支部の益々の発展を祈念し、雑筆ですが挨拶に代えさせていただきます。

2015年度 明治大学校友会東京都多摩支部 第12回定期総会・懇親会

日 時 平成27年6月27日（土）

第1部 総 会 13時～14時

第2部 公演会 14時30分～15時00分

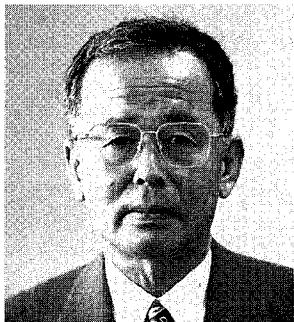
第3部 懇親会 15時15分～17時00分

場 所 立川グランドホテル 立川市曙町2-14-16 TEL 042-525-1121
公 演 会 グリーンクラブ

立川地域支部の総会に寄せて

東京都多摩支部 支部長

安 田 晉



立川地域支部第47回定期総会、そして会報「潮」41号発行おめでとうございます。

「潮」の誌面には、いつも立川地域支部諸兄姉の、多彩な活動のご様子が克明につづられていて、大いなる感銘と刺激を受けています。

常日頃は橋本支部長はじめ役員の方々に、全般にわたりご協力をいただき感謝しています。今も進化を続ける多摩地区の巨大タウン「立川」にどっしりと根を張った校友会活動の一環「明治大学マンドリン倶楽部演奏会」の「毎年開催」は全国広しといえども立川と墨田地域支部の2支部のみの由にて「継続は力なり」を想い、組織的な動員力、パワーに敬意を表します。

さて、多摩支部は全組織のクオリティ向上と情報通信網の整備、女性を含む更なる会員数の増加を推進中につき、この上ともお力を貸し下さい。

昨年の秋、文部科学省は国公私立37校を選び、スーパーグローバル大学と銘を打て、大学の国際競争力を高める為の重点的な財政支援を10年間続けることを発表し、明治大学もその対象になっていることは皆様ご高承のとおりです。

来る6月27日（土）の東京都多摩支部 第12回総会には、福宮学長より興味深い詳しいお話が色々伺えますので、当日は、立川地元校友の皆様多数のご出席をお待ちしています。

明治大学校友会 東京都立川地域支部の益々の弥栄を心からお祈り申し上げます。

第46回 明大マンドリン倶楽部演奏会

日 時	2015年7月11日(土) 6時開演(5時半開場)	
会 場	たましんRISURUホール(立川市民会館大ホール)	
入場料	2,000円(前売り)	2,200円(当日)
主 催	明治大学校友会立川地域支部	

前売り券取扱所:たましんRISURUホール(立川市民会館)〈プレイガイド1階事務所〉
ぴあステーション立川アレア店〈アレアレア2・3階〉
高島屋立川店〈友の会8階〉

※橋本支部長または役員からお求めいただくこともできます。

立川地域支部機関誌「潮」第41号の発刊に際し

東京都多摩支部 幹事長

西 山 強

立川地域支部第47回定時総会おめでとうございます。

多様化、高度化が進展する21世紀の知識基礎社会において、主要大学間の競争は、年々激しさを増している中で、2014年度に引き続き、2015年度も9年連続で一般入学試験志願者数において10万人を超える志願者を集められているのは何よりも、明治大学が眞のトップスクールとして認知され、それは学生、教職員、父母、校友会等、多くの関係者の母校愛の結集の結果だと思います。

しかし、2018年は大学にとっては大きな節目で、25%以上の受験生が減り続けていく時代をむかえる事になり、これらに対処して行くには現状が非常に重要な時期にあります。

多摩支部は平成15年の明治大学校友会の組織改革時10支部で立上り、宮崎体制、安田体制と12年間、組織拡大に邁進され、21地域支部と、ほぼ多摩地域支部を倍増に拡大され多摩支部全体を網羅することが出来、地域支部数では日本一の多摩支部となりました。そのような中で立川地域支部は設立後47年を迎られ、多摩支部21地域支部の中で燐然と光芒を放っております。

先日行われたディスクゴルフ大会でも立川地域支部と企画事業委員が中心にご活躍して頂き、今回のこの大会の参加地域支部15地域支部・参加人員72名で多摩支部のマイナーハイアーナード大会からメジャー大会へ格上げが出来と思われます。又、マンドリン定期演奏会も毎年毎年、年中行事として実施され、地域貢献として演奏会の一部を立川市社会福祉協議会へ寄付されていると聞いております。立川地域支部は正しく校友会の理念に沿って一步一歩前進されています。又、機関誌「潮」も第41号を発刊され、その内容も

一年を通じて多彩な活動が手に取るように記載、常に多摩支部をリードする地域支部と感心しております。これらも47年長い歴史の中で諸先輩方々が現在の役員諸君に伝統の力を教えられた結果と思われます。

一方、多摩支部も前記しました通り、一步一歩前進をしております。

現在、多摩支部の課題

- 1, 多摩支部全地域支部の組織化。
- 2, 組織等の品質（質）の向上と情報のスピードアップ。
- 3, 女性部委員会の創立。

を3つ掲げて、課題毎に6つの委員会を作り活発に改革を進めております。

1の多摩支部全地域支部の組織化は完全組織化までに1町村を残すだけになりほぼ完成に近づいております。

2の組織の品質（質）の向上と情報のスピードアップは改革内容がほぼ完成に近づいております。各地域支部等にどの様にお願いし、実施して行くかで今年度が仕上げの年となります。

3の女性部委員会創立は委員長の病気で遅れおり、今年度最大の課題となります。

今年こそ、これらの課題を完遂し、名実とも日本一の支部にして行きましょう。それには立川支部の伝統の力を多摩支部に伝承しています。皆様の強力なご支援・ご協力をお願ひいたします。常に前へ、前へで進めましょう！



明治大学野球部よもやま話

橋 本 直 樹 (昭30年政経卒)

4年間野球部にいただけで、後ろの方で球拾いをやっていました。レギュラーでやっていたのではないので、野球について、どうのこうの話は出来ないのでしょうけど。今年で学校創立136年ですか、野球部が出来て105年になります。100周年の記念として駿台倶楽部、野球部OB会名簿を作りました。

最初の卒業生は、明治43年2名で、明治44年7名、明治45年・大正元年は10名でした。昭和20年終戦の年は卒業生がおりません。

なぜ野球が好きになったかと言いますと、私の家に昭和9年頃より、橋本ブラザーズと言う野球チームがあり、当時の遊びと言えば三角ベース野球しかありませんでした。

子供の頃から野球をやっていました。住まいは和泉校舎の近くで自動車の修理工場をしておりました。昭和19年には母親の実家である成田に疎開しました。昭和20年終戦の年、成田中学に入学しました。夏休みになって兄弟全員が東京へ帰る事になりましたが、私は友人も多く出来ましたので一人残って祖母の世話をになり中学から高校へと進学し、好きな野球をする事が出来たのです。成高は戦後3年連続で甲子園に出場しました。卒業時、祖母が稼業は何時でも継げる、大学へ行ったらと。行くなら家の近所の明大へと、学校の推薦を受けたのが明大に入るきっかけでした。

明治から始まって今日まである訳ですが、卒業生には知名度が高い人が沢山います。大正7年卒の野球解説者小西さん・岡田源三郎さん、二出川さん大正10年、14年卒です。松木謙二郎さん昭和6年、田部井さん、広島の広陵中学出身で後に読売巨人軍に入団、足の速い選手でした。この方は沖縄で戦死されました。昭和23年には、川上の赤バット、大下の青バットと一世風靡したプロ野球選手の大下さんも卒業生です。当地域支部総会の講演にも来てくれた元祖フォークボーンの杉下茂さん。国立地域支部の1級先輩の岩崎さんの紹介でした。杉下さ

んとバッテリーを組んでいた安藤さんは当時2年生で26年卒でした。安藤さんは、立川のア



メリカ村に住んでいました。東大和市大南に転居されたと言うだけで消息は分かりません。安藤さんは私より背が低く、ご存じのように杉下さんは背が高く凸凹コンビとして有名でした。

島岡監督が野球部に来たのは昭和27年、私が2年の時です。当時部員が大勢で私たちは午前中に練習をし、レギュラーは午後からの練習でした。26年に明治高校から入ったのは10名でした。

31年卒の秋山、土井、黒木、岩岡、沖山ら7名が大洋ホエールズに入団しています。7名も同じ学校から一つの球団に入ったのは後にも先にもこの時だけだと思います。

悪役として鳴らして青汁のコマーシャルの「まづーい」で知られている、八名信夫さんも野球部の後輩です。出身は岡山東高校で、秋山氏の後輩です。卒後東映フライアーズに入団しましたが、野球ではダメで俳優になりました。44年は皆さんご存知の、星野仙一さんで、倉敷商業出身です。彼は、ジャイアンツが好きでしたが、ドラフトで指名されず、中日に入団しました。反骨精神が彼を超一流にしたのではないかと思います。引退後中日、阪神、楽天も優勝させました。

現在、グランドは府中の若松町にあり、合宿所も近くにあります。部員は、121名で何と明治高校出身者が15名、明大中野出身者が12名、明大八王子出身者が8名で付属高校出身者の割合が28.9%を占めています。

去年、38年ぶりに連覇しました。現在、駿台倶楽部の会長は31年卒の秋山氏と同期の土井氏がつとめています。取りとめのない話をしました。どうもご清聴有難うございました。

平成26年度事業経過報告

幹事長 守重芳樹
(昭40年工卒)

立川地域支部は、昭和44年6月26日(土)発足して以来、今年で47年を迎えることになった。母校の賛助と会員相互間の親睦を図るために支部活動を行っている。一方、明大マンドリン倶楽部立川演奏会は26年度は市民会館改修工事が完了1年ぶりの開催となつた。では、平成26年度の地域支部活動について、その経過を次の通り報告します。

平成26年

第10回 国立・立川・国分寺合同ゴルフコンペ

日 時：平成26年4月15日(火)

場 所：昭和の森ゴルフコース

参加者：26名

優 勝 本橋 巧(国分寺)

準優勝 曹 信虎(立川)

3 位 中西 宣二(国分寺)

4月24日(木) 立川地域支部役員会

於 曙一南公会堂 午後6時30分

議 題

1. 第45回マンドリン倶楽部演奏会について
日 時：平成26年6月28日(土)午後6時
場 所：たましんRISURUホール(立川市民会館)
チケット、ポスターの配布
2. 「潮」第40号の編集について
編集責任者代行 守重幹事長
4月16日(水)小野印刷に原稿持込みと打合せ
3. 第46回立川地域支部総会について
日 時：平成26年5月31日(土)午後6時
場 所：パレスホテル立川
講演者：橋本立川地域支部長
演 題：「明大野球部よもやま話」
4. 第11回多摩支部総会について
日 時：平成26年6月15日(日)午後1時
場 所：立川グランドホテル
講演者：石河菜美(元日経CNBCキャスター・明大OG)
演 題：「知的な出逢い～取材を通して見えたもの～」
5. 第50回全国校友新潟大会について
日 時：平成26年9月7日(日)午後1時
場 所：朱鷺メッセ 新潟コンベンションホール
6. 第15回地域支部ゴルフコンペについて報告
日 時：平成26年 4月15日(火)
場 所：昭和の森ゴルフコース

第10回国立・立川・国分寺合同ゴルフコンペとして実施

5月14日(水)「潮」編集会議

於 曙一南公会堂 午後6時00分

1. 「潮」第40号の編集について
2. 現状での校正実施

5月31日(土) 第1回多摩支部役員会

於 武蔵小金井駅北口レストラン「葦」

13:00~15:50

出席者 42名 欠席地域支部無

I. 承認事項

稻城地域支部設立承認

II. 報告事項

1. 第1回全国支部長会・本部員会合同会議(5月10日)

①真野副会長逝去、後任は松崎本部員

②校友会会則の一部改正

③校友会史編纂 130周年を記念し

④第8回お茶の水JAZZ際実施。

10月11日(土)17:00~

⑤マニラ・インド紫紺会申請

⑥親子三代卒業者表彰

2. 2014年春の叙勲・褒章受章者…1名

III. 検討及び実施事項

1. 2014年度の地域支部会員名簿(CD-R)配布

2. 第11回多摩支部総会案内・返信状況

3. 各地域支部は総会終了後、速やかに総会資料を2部総務委員長に提出

4. 各委員長・各地域支部長からの報告

5. 次の日程

5月31日(土) 第46回立川地域支部総会

於 パレスホテル立川 3階「菊の間」

開会冒頭、物故者に対する黙祷を行う

I. 総会 午後6時

司会	村木 良造
----	-------

1. 開会の辞	守重 芳樹
---------	-------

2. 支部長挨拶	橋本 直樹
----------	-------

3. 議長	橋本 直樹
-------	-------

4. 議事	
-------	--

(1) 平成25年度事業経過報告について	守重 芳樹
----------------------	-------

(2) 平成25年度決算報告について	寺西 義廣
--------------------	-------

(3) 平成25年度監査報告	栗原 聰
----------------	------

(4) 役員変更について	
--------------	--

会計 野村 庸夫 監査 村本 慎治	
-------------------	--

(5) 平成26年度事業計画(案)について	守重 芳樹
-----------------------	-------

(6) 平成26年度予算(案)について
寺西 義廣

(7) その他 なし

5. 閉会の辞 渋田 幹雄

II. 講演会 午後6時31分

司会 講師紹介 守重 芳樹
講師 橋本 直樹 (30年政経卒)
立川地域支部支部長
演題「明大野球部よもやま話」

III. 記念写真 午後6時55分

IV. 懇親会 午後7時10分

司会 石津 智志

1. 支部長挨拶 橋本 直樹

2. 来賓挨拶 多摩支部幹事長 西山 強

3. 来賓紹介 田村村山地域支部長
柳澤国立地域支部長
鈴木日野地域支部長
川寄小平地域支部副支部長

4. 乾杯音頭 小林 貞夫相談役

5. 懇談

6. 新顔出席校友・若手校友自己紹介

7. 校歌齊唱 エール 内田 賢一

8. 万歳三唱 明治大学 佐藤 公正
立川地域支部 田村日出男

9. 閉会の辞 司会者

出席者数 来賓 5名 会員 31名



第46回立川地域支部総会

6月4日(火) 立川地域支部役員会
於 たましんRISURUホール第5会議室
午後6時00分
出席者数 13名

議題

1. 第46回立川地域支部総会・「潮」第40号
編集の会計報告
2. 第11回多摩支部総会について
日 時：平成26年6月15日(日) 12時受付
次第 総会13:00~講演会14:10~懇親会15:30~
場 所：立川グランドホテル
講演者：石河菜美(元日経CNBCキャスター・明
大OG)
演 題：「知的な出逢い～取材を通して見えたも
の～」
3. 第3回バーベキュー大会について
日 時：平成26年7月27日(日) 9:20集合

場 所：昭和記念公園バーベキュー大会 10:00~
会 費：大人 3,000~4,000円 子供 1,000円

4. 平成26年日帰り旅行
日 時：平成26年10月末日
場 所：御茶ノ水～神田明神～湯島天神～不忍池
～上野精養軒～アメ横～御徒町

5. 第50回全国校友新潟大会について
日 時：平成26年9月7日(日) 午後1時
慰靈祭：新潟県護国神社 10:00~
場 所：朱鷺メッセ 新潟コンベンションホール
交 通：上越新幹線で

6. 第45回マンドリン倶楽部立川演奏会について
日 時：平成26年6月28日(土) 午後6時
場 所：たましんRISURUホール(立川市民会館)

7. 第16回地域支部ゴルフコンペについて
日 時：平成26年10月14日(火)
場 所：昭和の森ゴルフコース
第11回国立・立川・国分寺合同ゴルフコンペと
して実施

6月15日(日) 第11回多摩支部総会

於 立川グランドホテル
第1部 総会 13:00~15:20
司会 高久 みどり氏
第2部 講演会 14:10~
講演者：石河菜美(元日経CNBCキャスター・明
大OG)
演 題：「知的な出逢い～取材を通して見えたも
の～」



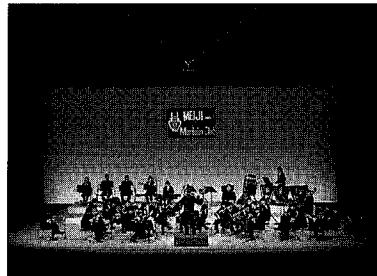
第11回多摩支部総会講演会石河菜美氏

司会 高久 みどり氏
第3部 懇親会 15:30~17:30
司会 川寄総務委員長
アトラクション
ファイナル合唱歌 木下幹事
明大節 三森校友
校歌齊唱 リード瀬戸校友
万歳三唱 明治大学万歳 安田支部長
多摩支部万歳 福宮学長

6月28日(土) 第45回マンドリン倶楽部演奏会

於 たましんRISURU大ホール 午後6時開演
第1部 古典音楽
1. ラデッキー行進曲

2. 愛の挨拶
 3. 新世界より第4楽章
- 第2部 新旧日本の心
1. 東京ラプソディー
 2. 花は咲く
 3. 影を慕いて
 4. 丘を越えて
 5. 70年代ヒットメドレー
 6. 津軽組曲より「夏」 他
- 第3部 WORLD MUSIC
1. パリーの空の下
 2. マカレナの乙女
 3. ティコティコ
 4. エルクンパンチエロ
- 他



第45回マンドリン倶楽部演奏会

- 7月10日（木）立川地域支部役員会**
於 やぶ砂 18:30~
1. 第45回マンドリン倶楽部立川演奏会反省
・感想、意見、要望及び次回案内状希望等提出
79部
 2. バーベキュー大会
 3. 第50回全国校友新潟大会について
 4. 日帰り旅行
 5. 第11回国立・立川・国分寺合同ゴルフコンペ
 6. 第12回多摩支部総会 27年6月15日
→八王寺・府中・町田・日野・多摩市
 7. 第46回マンドリン倶楽部演奏会
日 時：平成27年7月11日（土）午後6時
場 所：たましんRISURUホール（立川市民会館）

- 7月13日（日）第2回多摩支部役員会**
於 武蔵小金井駅北口レストラン「葦」
15:00~17:15
- 出席者 44名 欠席地域支部無
- I. 報告事項
1. 第2回支部長会の報告（6月14日）
 - ①2015年度支部総会開催日程について
 - ②稻城地域支部新設承認の申請について
 - ③第130回明大祭実行委員会への助成について
 - ④第14回生明祭実行委員会への助成について
 - ⑤第17回明大ホームカミングデー福引景品寄贈について
 - ⑥校友会会則の一部改正について
 2. 第11回多摩支部総会での質問回答の件

①多摩テック跡地利用中止について

②地域支部旗の色の件

II. 検討及び実施事項

1. 2014年度の地域支部会員名簿(CD-R)配布
2. 第11回多摩支部総会案内・返信状況の分析
3. 各委員長…各地域支部長からの報告

7月27日（日）第3回バーベキュー大会

於 昭和記念公園バーベキュー場

9:30~12:00

参加者 大人 12名 小学生 3名

9月7日（日）第50回全国校友新潟大会

式典

会場：朱鷺メッセ 1階「展示ホール」

13時00分~20時00分

司会：須山 司、渡邊日奈子

- ・大会旗入場 宗村 宗二（メキシコ五輪金メダリスト）レスリング競技（グレコローマン・ライト級）
- ・物故校友への黙祷
- ・歓迎の挨拶 実行委員長 田代 和孝
- ・大会会長挨拶 明治大学校友会会长 向殿 政男
- ・祝辞 学校法人明治大学理事長 日高 憲三
- ・祝辞 明治大学理事長 福宮 賢一
- ・来賓祝辞 新潟県知事 泉田 裕彦
- ・来賓祝辞 新潟市長 篠田 昭
- ・万歳三唱 明治大学校友会会长 向殿 政男
学校法人明治大学理事長 日高 憲三

記念講演 14時30分~20時00分

・講師：吉田 義人（ラクビー部前監督）

・演題：「北島監督の教えと明治魂」

懇親会

会場：朱鷺メッセ 2階「メインホール」

17時00分~20時00分

司会：須山 司、渡邊日奈子

・鏡開 新潟県内8つの蔵元による

- ・アトラクション 明大グリーンクラブOB会
- ・次年度開催権アピール 校友会滋賀県支部
- ・第一応援歌「紫紺の歌」 明大応援団OB

9月27日（土）第3回多摩支部役員会

於 武蔵小金井駅北口レストラン「葦」

15:00~16:45

出席者 40名 欠席地域支部無

1. 支部長会等の報告（7月26日、7月27日）
 2. 第50回明治大学全国校友会新潟大会の内容
多摩支部参加者 25名 都で一番少ない
- II. 検討及び実施事項
1. 2015年度明大校友会多摩支部年間日程（案）
 2. 多摩支部正副支部長及び役員会の流れ、見直し（案）

3. 第4回・役員会&忘年会12月20日実施(案)
 4. 2014年度の地域支部会員名簿(CD-R)の配布
 5. 第11回多摩支部総会案内・返信状況分析結果
 6. 各委員長…各地域支部長からの報告
- 次回、第4回・役員会&忘年会12月20日(土)

10月30日(木) 日帰り旅行

日 時：平成26年10月30日(木)
 JR立川駅改札口 10:00
 目 的：御茶ノ水から上野を歩こう
 行 程：立川⇒御茶ノ水⇒神田明神⇒湯島
 天神⇒上野精養軒(解散)
 昼 食：上野精養軒
 参加者：10名



日帰り旅行

12月18日(木)

第11回国立・立川・国分寺合同ゴルフコンペ
 日 時：平成26年12月18日(木)
 場 所：昭和の森ゴルフコース
 参加者：26名
 優勝 石津 智志(立川)
 準優勝 鹿島 岳志(国分寺)
 3位 山下 誠治(国分寺)

12月20日(土) 第4回多摩支部拡大役員会

於 立川ベースボール 13:00~14:00

出席者 47名 欠席地域支部無

I. 報告事項

1. 拡大役員会・大忘年会について
2. 平成26年度秋の叙勲・褒章受章者
3. 向殿校友会会长との会談内容(11月17日実施)
4. 第3回支部長・第2回本部役員合同会議報告

II. 検討及び実施事項

1. 第12回総会実行委員会より
2. 各委員長…各地域支部長からの報告

12月20日(土) 多摩支部大忘年会

於 立川ベースボール 14:00~14:00

出席者 59名 東久留米地域支部欠席

会費：男子 5,000円 女子 2,500円

アトラクション

- ・ビンゴ
- ・カラオケ

平成27年

1月21日(水) 立川地域支部新年会
 於 立川グランドホテル 午後6時30分
 会費 6,000円
 ・平成27年主な行事予定説明
 参加者 25名

2月3日(火) 立川地域支部役員会

- 於 やぶ砂 18:30~
1. ディスクゴルフについて
 3月28日(土)昭和記念公園内ディスクゴルフ場
 2. 「潮」41号の編集について
 守重幹事長が担当
 3. 第46回マンドリン倶楽部立川演奏会について
 4. 第47回マンドリン倶楽部立川演奏会について
 5. 国立・立川・国分寺合同ゴルフコンペについて
 6. 第47回立川地域支部総会について
 日時：平成27年5月23日(土) 午後6時
 場所：パレスホテル立川
 7. 第12回多摩支部総会
 日時：平成27年6月27日(土) 12時
 場所：立川グランドホテル
 8. バーベキュー大会について
 今年も実施
 9. 一泊旅行
 財政状況と予算を検討し決める
 10. 第51回全国校友滋賀大会について
 日時：平成27年9月6日(日) 12時
 場所：大津プリンスホテル
 11. 日帰り旅行について
 12. 財政状況について

2月28日(土) 第5回多摩支部役員会

於 武蔵小金井駅北口レストラン「葦」
 15:00~16:45
 出席者 48名 欠席地域支部無

I. 報告事項

1. 支部長会の報告(1月24日)

II. 検討及び実施事項

1. 2014年卒の宛名ラベルの活用について
2. 第12回総会実行委員会より
3. 各委員長…各地域支部長からの報告

III. 役員改選について
 臨時役員会の開催予定(3月14日)

3月10日(火) 立川地域支部役員会

- 於 やぶ砂 18:30~
1. ディスクゴルフについて
 3月28日(土)昭和記念公園内ディスクゴルフ場

- 参加者確認
2. 「潮」41号の編集について
記載内容確認。スケジュール確認
 3. 第46回マンドリン倶楽部立川演奏会について
チケット、ポスターの確認
 4. 第47回マンドリン倶楽部立川演奏会について
学生との交渉状況報告
大井氏の応援及び楽器、舞台装置業者決定
 5. 第11回国立・立川・国分寺合同ゴルフコンペについて
日時：平成25年5月12日（火）
場所：昭和の森ゴルフコース
 6. 第47回立川地域支部総会について
日時：平成27年5月23日（土）午後6時
場所：パレスホテル立川
7. 第12回多摩支部総会
日時：平成27年6月27日（土）12時
場所：立川グランドホテル
8. バーベキュー大会について
昨年の状況説明。開催決定
9. 一泊旅行
資料を収集し、次回検討
10. 第51回全国校友滋賀大会について
日時：平成27年9月6日（日）12時
場所：大津プリンスホテル
日帰り可能報告
11. 日帰り旅行について
秋の明大行事参加。明大和泉校舎見学。
秋の鎌倉。

3月28日（土） 第4回多摩支部ディスク ゴルフ大会

日時：平成27年3月28日（土）
集合場所：昭和記念公園西立川口入場ゲート内
場所：昭和記念公園内ディスクゴルフ場
終了後立川ベースボールにて表彰式、懇親会
費用：入場料個人負担
参加費 500円
懇親会費 2,500円

第51回 明治はひとつ びわ湖に集う紫紺の旗！

明治大学全国校友滋賀大会

びわ湖の畔、大津プリンスホテルで開催
びわ湖上でビアンカ・ミシガン船上前夜祭

平成27年 9月5日㈯ エクスカーション Gコース 濑田ゴルフコース 北コース【日帰り】
支部長・地域支部長 大津プリンスホテル 16:00~17:30 着
本部員懇談会 14:30~

湖上 前夜祭 ビアンカ、ミシガンにて湖上航行 大津プリンス港発着 17:30~19:45

平成27年 9月6日㈰ エクスカーション ①コース 石山寺参拝と昼食の旅【日帰り】
(滋賀県内観光) 13:00~
第1部 記念式典 大津プリンスホテル プリンスホール(3階) 14:30~

第2部 講演・記念講演 大津プリンスホテル プリンスホール(3階) 14:20~

第3部 懇親会 17:00~19:00
大津プリンスホテル コンベンションホール淡波(2階)

平成27年 9月7日㈪ エクスカーション ①コース 坂本・比叡山延暦寺方面の旅【日帰り】
(滋賀県内観光) 13:00~
②コース ぐるっと びわ湖の旅【日帰り】 14:30~
③コース 長浜・彦根方面の旅【日帰り】 15:30~
④コース 近江八幡・安土方面の旅【日帰り】 16:30~

びわ湖
面積 670.25km²
周囲 160km
水深 最深部約16m
水質 全年を通じて水温10℃以上
透明度 10m以上



第50回明治大学全国校友新潟大会に参加して

橋本直樹

(昭30年 政経卒)

会場は新潟市内の朱鷺メッセ。1階ホールで午後1時より記念式典が始まり、メキシコ五輪金メダリスト宗村宗二氏による大会旗の入場で幕が開きました。

国歌・校歌の斉唱で始まり、物故校友への黙祷・開会宣言・来賓紹介等があり、向殿大会会長の挨拶で盛り上がって来ました。

記念講演は講師にラクビーの吉田義人氏が「北島監督の教えと明治魂」と云う演題で思い出話をされました。とてもよかったです。

吉田さんは、数年前伊勢丹立川店に勤務されていた頃、何度か当地域支部の総会に出席された事があると思います。

2階のメインホールで懇親会に入り、しばらくぶりで熊谷地域支部の友人に会い、話がはずみました。新潟のおいしい酒を飲みながらの2時間はあっと云う間でした。

翌日、佐渡汽船で佐渡に渡り、トキの森公園・佐渡金山など見物しました。

特に佐渡には思い出があります。40年前になりますが、2人の子供が学校に入る前、東京から妻と4人、自家用車で来て島内を一周しました。当時大佐渡スカイラインは舗装されてなく、がたがた道でした。

印象に残っているのは金山の鉱内で働いていた労働者的人形像が今回見物したのと大分変っていました。説明は当時を思わせるもので、とても感動しました。

帰りに、真野湾の傍で昔泊まったホテル八幡館の前を通って来ましたが、大分風景も変わっていました。

当時は昭和天皇が宿泊されたホテルとして有名でした。他支部の人達共一緒だったので、親

睦もはかれたし、又、いい思い出が出来ました。

小林貞夫

(昭29年 政経卒)

「きなせや」うまさぎっしり「越後一会」柳都・新潟をスローガンに、第50回全国校友新潟大会が、平成26年9月7日(日)、新潟朱鷺メッセで午後1時から記念式典が開催された。

当立川地域支部から橋本支部長、渋田、園田副支部長、守重幹事長と私が参加した。

会場に到着すると、全国から約1200名の校友が参集、互いに旧交を温め、校友の絆の輪が更に深まってきた。

開場を見わたすと立川在住で、当支部幹事の曹信虎校友が在日韓国人同窓会から参加していた。立川地域支部校友6名の参加となった。

記念式典はメキシコ五輪レスリング金メダルの宗村宗二氏(昭和41年法卒)が、大会旗を掲げて入場、大会実行委員長に手渡し、壇上に大会旗が掲げられた。国歌、校歌斉唱、物故校友への黙祷が行われた。

新潟県支部長代行小川英朗新潟地域支部長の開会宣言に続き、田代和孝実行委員長新潟県支部長の歓迎の挨拶で、大会スローガンで「きなせや」は、「おいで下さい」の新潟弁で心から歓迎いたしますと「越後一会」は茶道の精神で「一期一会」と心を込めて皆様のおもてなしを



いたしたいと、新潟での多彩な魅力に富んだ食と歴史と文化をぜひ堪能いただきたいと挨拶をされた。

大会会長の向殿政男校友会長は、時代や社会が変化する中でも、変わらないのは「権利自由」「独立自治」の建学の精神によって、学校も在校生も、先輩もつながり、母校を思い支援し、賛助し、校友の親睦を図り、校友会活動により母校が発展、充実すると呼びかけた。

続いて日高憲三理事長は、本学の最大の財産は52万人を越える卒業生であり、校友の皆様と共に世界に誇れる大学を目指します。福宮賢一学長は、本学は時代を拓き、世界へ発信する大学として更に邁進していきます。明治はひとつの合言葉のもと、大学、校友が一体となり前に進んでまいります。今後もご支援、ご協力をお願いしますと祝辞を述べられた。

来賓の泉田裕彦新潟県知事、若林孝新潟市副市长、高橋悟明大連合父母会会长から祝辞の後、全国支部長を代表して、来年度の全国校友大会開催地の滋賀県から、岩田守弘支部長が第51回全国校友大会を平成27年9月6日（日）、大津プリンスホテルで「明治はひとつ びわ湖に集う紫紺の旗！」のスローガンで、いざ近江の国へと、是非ご参加をいただきたいとPRの挨拶をされた。

明治大学および校友会の発展を祈願し万歳三唱があり、大竹和夫副支部長が閉会の挨拶で、2時20分に記念式典は盛会に終了した。

第2部記念講演は、午後2時30分から演題「北島監督の教えと明治魂」と題し、ラグビー部前監督の吉田義人氏が講演を行った。

当立川支部でも第31回総会を平成11年6月5日に開催したとき、記念講演を吉田義人氏に「北島忠治先生に学んだこと」の演題で話されたことを思い出した。

明大ラグビー部の礎を築き「前へ」の名言を残した、故北島忠治監督は、物事に対し、真っ直ぐに正々堂々と勇気を持ってチャレンジすることであると、北島監督が87～91歳のころ、学生時代に指導を受け、ルールは絶対であり、正々堂々プレーすることを映像をまじえて選手と監督との信頼が如何に大切かを大好きな

たばこをふかしながら練習を見ている先生の姿が心の支えだった。北島監督の教えを胸に刻み、常に「前へ」の精神で1年生からレギュラーで、19歳で日本代表に選出され、4年生で主将を務め大学日本一となり、卒業後も2度のワールドカップに出場、日本代表として3度出場活躍する。平成21年から4年間明大ラグビー部の監督を務め、平成24年に優勝し監督を勇退した。

現在はオリンピック正式種目となった7人制



ラグビーの男女の監督を務め、強化普及活動に尽力し、ラグビーを通じ素晴らしい人材を育て立派な社会人となる人々を育てていきたいと1時間30分にわたる熱弁の講演であった。

会場を朱鷺メッセ2階「メインホール」に移し懇親会を5時に開会した。

新潟県内明大OB社長の8つの蔵元の樽による大鏡開きで、向殿校友会長の音頭で乾杯が行われた。明大グリークラブOB会の校歌等の大合唱により歓談に入り、地酒・郷土料理が振るまわれた。応援団OBによる「紫紺の歌」等の応援歌で神宮での野球応援の再現で感動がよみがえり、会場は盛り上がった。声高らかに肩を組み校歌の大合唱となり、新潟県支部関川正利副支部長の閉会の挨拶で熱気溢れる懇親会は閉幕した。

翌日は佐渡日帰りのAコースに参加した。佐渡汽船ターミナル7時20分集合。新潟港を7時55分発のジェットフォイルで両津港に9時に着く。観光バスで佐渡金山に10時に着き、国内最大級の鉱山で、400年の歴史と江戸時代の驚異的な生産技術を忠実に再現された模型等で見学が出来た。豊臣政権から明治政府に至るまで財政基盤を支えられた。

10時45分に佐渡金山から北沢浮遊選鉱場に

11時10分まで見学する。歴史伝説館に11時50分に着き、12時40分まで見学と昼食をすませ、1時にトキの森公園へ行く。佐渡島の中央部に広がる国仲平野の東側、新穂地区にある。

トキ資料展示館では、保護増殖、野生復帰に取り組んでいる様子の資料を展示してあった。隣接する佐渡トキ保護センターでトキを観ることができ、トキふれあいプラザは、水路、止まり木、採餌、巣作りなど自然に近い生息環境で、



トキを間近に1時40分まで観察が出来ました。

両津港2時25分のジェットフォイルで、新潟港に3時30分着。バスで新潟駅に4時15分に到着。東京行き6時16分に予約のため、出発時刻まで時間があり、駅構内の食堂で食事をしながら、大会の感想等を楽しい話題で時間となり帰路につき、立川に9時30分に到着、解散、家路に向かった。

次の第51回全国大会は、いざ近江のと国へ滋賀大会で平成27年9月6日（日）開催されます。地元の校友はより良い大会にと全力で準備をしています。全国から馳せ参じる校友の先輩、後輩、同期の旧友と青春時代の想い出を、そして旧交を温め、校友の絆を深め、校歌を高らかに大合唱。この雰囲気を是非味わっていただきたく、皆様をお誘いします。



園田滋夫 (昭42年 法卒)

“きなせや” うまさぎっしり

「越後一会」の歓迎で！

第50回全国校友新潟大会が、平成26年9月7日（日）、日本一の大河、信濃川にかかる新潟市のシンボル「萬代橋」近くのコンベンションホール“朱鷺メッセ”で全国から1200名余の校友が参集し、盛大に執り行われました。

我々の地域支部からは、小林相談役、橋本支部長、渋田副支部長、守重幹事長とそして小生が参加致しました。

朝6時50分、JR立川駅集合のため、慣れない早朝、5時半起床でしたが、少々の緊張感で、眠気も気にせず駅へ到着。

裏日本である新潟は、普段縁がなく遠い存在でしたが、東京駅よりあつと言う間の2時間でした。

速い新幹線では、1時間40分と非常に近い距離に感じられ、交通アクセスでの時代の進化を感じられずにはおられませんでした。

特に新潟市は、県の中心都市であり、東京の街と変わりなく、超高層ビルを始め、店舗がつらなっており、地方に来た感がありませんでした。

第50回目の記念式典は、田代新潟県支部長兼実行委員長、日高理事長、福宮大学長の後、泉田知事、若林副市長等、そうそうたる来賓の厳粛な挨拶で始まりました。

そして式典の後は、名を馳せた我、明大ラグビー部の北島名監督の教えを受け継いだ吉田義人前監督、19歳で日本代表、4年後に主将を務め、更に10年振り、単独8回目の大学日本一の栄光に、現在はオリンピックの正式種目となった7人制ラグビー男女の監督として活躍のお話しを聞きました。

大学対抗のみではなく、輝かしい成果、実績づくりまでの葛藤や、体をはっての部員への指導、心の持ち方、技術力の向上、心血をそいだ監督と部員を乗り越えた、人間どうしの強い絆が生まれるまでのエピソードが話され、

“ぐっと”くるものがありました。

そして、懇親会場では、1200余名の全国の校友とともに、グリークラブのOBの歌など聞きながら“明治はひとつ”的合言葉で、会場が一体となりました。

また、平成24年の静岡大会では、大先輩であり、元日本国総理大臣・村山富一校友会名誉会長に個別にお会いする機会をいただき、今回も90歳の大先輩から元気がもらえるのかと、楽しみにしておりましたが、当日は韓国に招かれているとのことで、残念でした。・・・

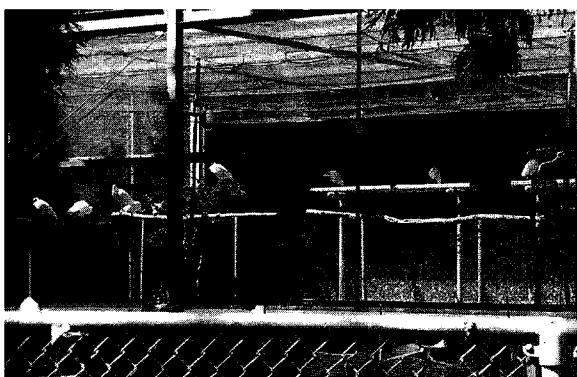
今大会での、事前準備、会場設営、運営に地元新潟支部の多くの役員の方々が、一所懸命に取り組んで下さっている姿を見て、心より感謝申し上げました。

会場内に展示された、当地ならではの「お米」「久保田」をはじめ、おいしい日本酒の種類の多さに、改めてお米の国新潟を感激しました。

翌日は、エスカーションとして、一般の船の倍の速度、時速80kmの「ジェットフォイル」で佐渡へ上陸、島内観光を行いました。

昼には、大きな池のある公園のレストランで昼食を取りましたが、テレビで良く見る、北朝鮮での拉致被害家族の曾我ひとみさんの夫、米国人のジェンキンスさんが、顔色もピンク色で良く、おせんべい売り場でアロハを着て働いている姿を拝見することができました。

売上金の2%を拉致被害家族に寄付しているとのことでした。



その後に、佐渡の島の歴史である、流人に掘らせた地下壕での“金”的採掘作業現場を再現した、働く「ろう人形」を見て、当時をリアルに想像することができました。

また、“キンとミドリ”を最後に、一度は国内で絶滅した美しい保護鳥、“トキ”をトキ公園で、その優雅な姿に直近で触れることができました。

ちなみに現在は、放鳥での野生が144羽、公園内ケージで198羽と計342羽（平成27年4月10日現在、佐渡市トキの森公園への調査）に増やすことができたとのことでした。

1泊2日の短い旅でしたが、立川の校友の皆様も時間をつくり、“リラックマ”でお出かけできたらと思います。

今年の滋賀大会では、我々立川地域支部の多数の皆様と想い出を残せる、素晴らしい時間となることを願いつつ、ペンを置きます。

ありがとうございました。

渋田幹雄

(昭34年 法卒)

2014年9月7日(日)の全国大会に参加しました。

会場は新潟港の近くにあるトキメッセで、支部長、幹事長、小林さん、園田さんと私の5人で出席しました。

行事の内容は、他の人が書くと思いますので省略します。

懇親会の会場では曹さんと合流しました。新潟は酒造メーカーが多く、校友がオーナーの酒蔵が8社もあるとのことでした。サービスとして校友の作ったお酒もいただいた帰りました。

2日目は高速船で佐渡に渡り楽しい一日を過ごしました。トキの森公園、佐渡金山を見学し、帰りは新潟駅近くで打ち上げをし、おいしい魚とお酒で大満足でした。

段取りや手配をしていただいた守重幹事長に感謝です。

第45回 明治大学マンドリン倶楽部 立川演奏会

2014年6月28日 たましんRISURUホール

「お礼とお願い」のまとめ

中 島 尚 二 (昭43年 工卒)

昨年のマンドリン演奏会にご来場の方々より頂いたご感想、ご意見等を下記のようにまとめました。今年も7月11日に皆様方のご要望に沿った楽しい演奏会を開催致します。裏方一同頑張りますので、ご期待下さい。

提出者数	立川市在住	29
	立川市外	55
	不 明	3
	合計	87

立川市 女性 子供の頃、信州の分校で窓越しに見てた事がありまして、それ以来、マンドリンには特別な思いがあります。本当に懐かしく聞かせて頂きました。又、機会があったらぜひ伺いたいです。素晴らしいです。ありがとうございました。全て良かったです。

立川市 女性 每年、楽しみにしています。

立川市 男性 素晴らしい演奏に聴き入りました。ありがとうございました。構成も良かった。次回は第3部の「WORLD MUSIC」で、映画（洋画）音楽を聴きたいと思います。

1. 太陽がいっぱい
2. 風と共に去りぬ
3. ドクトルジバゴのララのテーマ . . .
8. 番外で「寅さん」→プログラムの表示は「??？」でいかがでしょうか？ 次回も楽しみにしています。

立川市 女性 古賀メドレー素晴らしいです。

立川市 女性 とてもすばらしかったですよ。いやされました。

立川市 女性 とても良かったです。毎回楽しみにしています。頑張って下さいね。

立川市 女性 指定席にして頂きたい。

立川市 男性 古賀先生の曲を出来るだけ多く演奏して欲しい。貴クラブの発展と活躍を願い、期待しております。

立川市 每年楽しませて貰っています。素晴らしい演奏です。これからも頑張って下さい。1年経つのは早いもので又聞かせて下さい。

立川市 女性 初めての演奏会です。とても楽ししく聞く事ができました。また来たいと思います。ありがとうございました。

立川市 女性 とてもすばらしかったです。又聞きたいです。

立川市 女性 残念乍ら我が家の長男は早稲田です。おとなりの御主人様は明大卒と聞いて居ります。今度お声をかけて見ます。今日は大変有り難うございました。又伺いたいと思います。

立川市 女性 初めてでしたが感動致しました。又聞かせて頂きたいと思いました。

立川市 男性 70年代メドレーは大変良かった。童謡や小学唱歌のメロディーはとても良かった。皆さん演奏は上手ですが、硬直した姿勢で演奏してる人が多い様です。硬いと余裕がない様に見えるので、ゆったりゆとりを持って弾いた方が良いのでは、体も自然に動いてくると思います。そうしたら見る方聞く方もゆとりと自信を感じます。アップテンポでリズムがズレるところあり。

立川市 女性 每年楽しみにこの日を待っています。みんな元気で来年も会いましょう。

立川市 女性 来年も楽しみにしております。よろしく。

立川市 女性 每年新しい曲が入りますね。今年の新世界とても良かったです。また新しい曲、楽しみにして居ります。

立川市 女性 本日はたのしいひとときありがとうございました。最高の演奏ありがとうございました。

立川市 女性 来年の案内状を申し込みました。すばらしい演奏をたんのうしました。学生さん日々の努力のたまものと感動しました。

西東京市 女性 力強い演奏を聞かせて頂きました。

東大和市 女性 何年かぶりで演奏会に来させていただきありがとうございました。知っている曲もたくさんあってなつかしく思って聞かせて頂きました。マンドリンはいいですね。本当にありがとうございました。また来たいと思います。楽しみにしております。

東大和市 男性 17年ぶりに見にきました。とても感動しました。又来年も来ます。とても楽しみにしています。会場でみんなが歌えるコーナーはとてもよかったです。みんなが歌える曲を又やってほしい。会場から指揮者を募集してやってほしい。

東大和市 女性 とても素晴らしいです。年2回位聞きたいですね。

小平市 女性 今年の立川演奏会はあいにくの雨でしたが、会場入場を早い時間からしていただきて助かりました。年に1回あるのを楽しみにしております。

小平市 女性 素晴らしい演奏でした。ありがとうございました。46回も楽しみにしています。「花は咲く」涙しました。

小平市 男性 1. 受付対応がよりスマーズになりました。2. 演奏に関しては音響もよかったですし、演奏テクニックもよかったです。但し演奏構成でもう少し古賀メロディーをききたかった。

国分寺市 男性 次回は古賀メロディーを多くお願いします。老人多い。

国分寺市 男性 每年御苦労様です。いつも楽しみにしています。古賀メロディーの中で手拍子と共に一同で歌えれば最高です

国分寺市 女性 每年夫婦で来ております。楽しいひとときありがとうございます。

国分寺市 女性 亡母と明大のマンドリンは思い出として60年になります。長い御縁に感謝します。選曲もいつも良いと思いますが、欲を云えば昔のように素朴なマンドリンの音色を楽しみたく他の楽器を多く入れないで欲しいです。・・と思いましたが後半少し反省・・。しかし、この梅雨のうつとうしさの中爽やかな風が吹く思いです。充実した内容でした。すばらしいです！！ありがとうございました。感謝。ベストステキでしたヨ。真面目なおじぎも学生らしくて。

国分寺市 男性 来場者は年配者が多い。古典も良いけど古賀メロディーをもう少し聞きたかった。70年代ヒットメドレーと津軽組曲には感動しました。WORLD MUSICも聞いた曲ばかりで親しみがわきました。

国立市 女性 立川支部の喜信虎にチケットをもらい、聴きにきました。私は明治大学農学部の教員で留学生の日本語教育も担当していました。そんなご縁です。学生の演奏は若さにあふれていて良いですね。45回も続けてこられたことに



敬意を表します。第一部も第二部も第三部もとても楽しかったです。これから毎年ききに来ます。立川市民に愛されつづけるようがんばってください。きょうはありがとうございました。

国立市 男性 貴重なコンサートを聴くことが出来ました。明治大学、立川地域とつながっていけたらと思います。

国立市 男性 楽しく、すばらしい演奏を聞かせていただきありがとうございました。

国立市 男性 選曲も変化に富んでいて楽しめました。特にメドレーには感心、感激しました。

日野市 女性 1部、3曲だけでしたが、良い選曲だったと思います。

2部、古賀メドレーはなつかしいです。花は咲くをきかせてくださりありがとうございました。70年代の22曲はすばらしかったです。真面目でさわやかな大学生から元気をいただきました。これからも立川演奏会を楽しみにしております。アンサーも大変ききやすかったです。ありがとうございました。72才の老女より

日野市 男性 昭和34年卒で久しぶりの演奏会をきくのが楽しみです。

日野市 男性 昨年のホームカミングディの際、マンドリンの演奏を聞きましたが、いつ聞いても素晴らしい感動を覚えます。メンバーがあたらしくなっても常にチームワーク良く演奏している姿は若さを貢います。これからも聞きに来ます。よろしく。

日野市 男性 いつも素晴らしい演奏をありがとうございます。毎年、日本青年館での演奏会を聞いていましたが、今年から立川に切り替えました。また年末のクリスマスコンサートも聞きに行っています。

1. キーボード、アコーディオンが熱演で感動しました。「影をしたいて」良かった。

2. 津軽組曲、迫力ありました。

3. 3部はもう少し楽しそうに弾いてもよいと思いました。

八王子市 女性 全て合格。楽しませて下さいました。津軽三味線は素的でした

八王子市 男性 8. 津軽組曲「夏」は名曲だと思いました。

八王子市 女性 いつもマンドリンの演奏を見るのを楽しみに待って居ります。昨年は会場の都合上見られなくて、大変ガッカリしましたが、多摩近郊で演奏予定がありましたら、お知らせいただければ幸いに思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。昨日の演奏もすばらしい音楽で、特に津軽組曲を耳にしました時は改めて日本の曲の文化を感じました。どうもありがとうございました。今後もがんばって下さい。申込書遅ればせながらお送りいたします。

福生市 女性 とても良かったです！男性のコンマスはやはりしっかり音も出していて頼もしかったです！ 学生時代にやったマンドリンを、2年前から40年振りに始めたところです。いつの日か私も演奏会に出られるよう頑張りたいともいました♪来年も楽しみに参ります…頑張つて下さい♡

福生市 女性 70年台メドレー楽しかったです。津軽組曲「夏」すばらしかったです。以前聞いた時とてもマンドリンの楽器からかなでられるのかと耳をうたがいました。毎回楽しみにしています。

日の出町 女性 生のマンドリンの演奏がきけてとても良かったです。美空ひばりの曲も入れてほしいです感動しました。とてもすばらしかったです。また次回も参加したいと思います。

羽村市 女性 例年は青梅のコンサートに行くのですが、今年は青梅がないようなのでこちらにきました。広い会場でゆっくり観られて感謝します。立川に来るのは2度目です。



羽村市 女性 うちの子も、以前マンドリンクラブでがんばっていました。よろしくお願いします。

羽村市 女性 ロシア民謡なども、演奏して頂けたらと思います。

羽村市 女性 首を長～くして待ってましたよ。新世界よりはすごく良かったです。津軽三味線もう一曲増やしてほしいです。

あきる野市 女性 はじめて聞いたのは10年以上前でした。2年前にも来ることが出来今年ハガキをもらって又見に来る事が出来た事喜びです。私は72才、春日八郎が好きでした。この人の曲もレパートリーに入れて下さい。お願いします。林伊佐雄（男）長崎の女、山の吊り橋来年も聞きに来たいです。

あきる野市 女性 2年振りに演奏会をお友達6名と来ました。山口百恵の”いい日旅立”もマンドリンでひいていただきたい。なつかしい曲でとてもいやされました。感動です、すばらしい、古賀メロディー永遠に――

あきる野市 女性 前略ご免下さいませ。リニューアルなったリスルホールでの演奏会は工夫もこらしても楽しめました。友人と4人で満喫致しました。列を作らないで入場出来まして何となくのびやかな気持ちでゆったりとした気分で、来年もこの方針でお願い致します。来年も通知よろしくお願ひいたします。かしこ 明大校友会の陰のお力に感謝申し上げます。

昭島市 女性 三部それぞれに楽しい曲力強い演奏に拍手！1970年代より22曲のメロディーは過ぎ去った歳月に胸いっぱい人生のあれこれ時の流れに若い方の頬もしい場にご一緒させて頂いて心より幸せのひととき、感謝申し上げます。東日本の復興に尽くされることにも思いを同じくする者として今後もひき続き一人一人の支えを誓いましょう！

昭島市 女性 每年楽しみにしています。楽しい演奏をありがとうございます。これからも頑張つて下さい。

昭島市 女性 古典も日本の心も大変すばらしく聞きほれました。又、よろしくお願いします。トランペットがとても上手でした。

○大ダイコ担当の女性が細い体で熱演

○ヤジに即反応した指揮者に感心。

○PAの関係かマンドラに比べマンドリンの音が聞き取りづらい事があった。

○アコーディオンも良いフンイキ出していた。

昭島市 女性 とても熱のこもったコンサートで

十分楽しませて頂きありがとうございました。CDは買ってあげることが出来ませんが寄付でしたら少しできますので募金箱を2つ用意して頂ければありがたいです。マンドリンクラブ用と震災用と。ご一考をお願いします。

昭島市 女性 久しぶりの演奏会でしたが友人と2人来年もまた聞きたいので体に気をつけてガンバロウと帰り道約束しました。CDをかけながら今これを書いてます。女性が多くなったのにビックリしました。日本の古いメロディー(古謡)や民謡、抒情歌等もぜひ多く聞きたいです。皆様元気に各地を回って沢山の人々を幸せにして下さい。(乱筆にて)

多摩市 男性 1. 演奏会はあれだけ多くの曲を楽しませて貰って大変良かったと思います。学生さん方の演奏という事もあり元気を貰いました。一生懸命演奏しているのを充分に感ぜられます。

2. 貴支部の手配等しっかりやっておられるのが十分分かります。安心して鑑賞出来る体制が出来ている思います。

杉並区 女性 初めて演奏会へ誘われたのが38年前で目黒で開催されたと記憶しております。その後数回機会があれば足を運んでおります。毎回とてもすばらしく心豊かになって家路につく事ができます。できれば毎年伺いたいとおもいます。よろしくお願ひ致します。

江東区 男性 私の居住地域にも明治大校友会支部がありますが、こんなすばらしい演奏会を主催されている事は驚きであります。第46回にもぜひ来て感激を新たにしたいと思います。昭34年商学部卒

練馬区 男性 初めて聞かせていただきました。感動でいっぱいです。70年代ヒットメドレー私の青春時代です。ありがとうございました。日頃の練習(つたわってきますね)たまものですね。次回もききたいです。楽しみにしています。

所沢市 女性 お疲れ様でした。雨の中、迷いつつ出て来て大満足で帰ります。ありがとうございました。所沢「ミューズ」にも来て下さい。

川崎市 男性 自分も高校、大学でマンドリンを弾いていましたが、こんなに楽しい演奏会は初めてです。ありがとうございました。

相模原市 女性 1年ぶりの演奏会、楽しんでいます。

相模原市 女性 津軽組曲を聴いて涙が出ました。十数年夫と二人で来ていましたが、昨年8月に他界し今年は一人で参りました。CDを買い夫と二人で聴かせていただきます。明大マンドリン倶楽部 万歳！！

以上



第3回 バーベキュー大会に参加して

大井邦彦
(昭38年 法卒)



前年に続き好天に恵まれ、私は小学5年生の孫を連れて昭和記念公園を訪れ、校友会バーベキュー大会に參加しました。

前回から参加した孫がとても楽しみにしており、他の子供達と一緒に張り切って手伝ってくれていたようでした。

親子三代で参加された方もいて、皆、和気あ

いあいで鉄板焼きに興じ、子供達も皆で焼いた美味しい肉を頬張り、満足のようでした。

大人は好みの酒を酌み交わし、若い頃の話から始まり、現在の健康状態(主に病気)の話等で盛り上がり、参加した20人程の校友が楽しい一日を過ごす事が出来ました。

年に一度、青空の下で校友会の学友、その家族、子供たちが集い、楽しく過ごす事はとても意義の有ることと思い、まだ参加した事の無い会員が一人でも多く参加されたら、一層楽しい会になるのではないかと考え、今年も又、孫を連れて参加したいと思います。

毎度の事とはいえ、この様な楽しい会を企画してご苦労して下さる幹事さんには多大な感謝を申し上げたいと思います。

今後とも参加者全員で、協力しあって会を盛り上げて参りたいと思うので、宜しくお願ひ致します。

第4回バーベキュー大会のご案内

日 時：平成27年7月26日（日）

昭和記念公園西立川ゲート9時20分

場 所：国営昭和記念公園バーベキュー場

担 当：守重芳樹



MEIJI UNIVERSITY

大学マーク

この大学マークは、明治大学の「M」をモチーフとして、21世紀に向けて明治大学が「限りなく飛躍する」イメージを伝えています。また、シンプルなデザインにより「親しみやすさ」を出し、その斬新な切り口は、「未来へのメッセージ」を伝えるデザインとなっています。

第11回多摩支部総会に参加して

守 重 芳 樹（昭40年工卒）

第11回校友会多摩支部の総会は、6月15日（日）に立川グランドホテル（4階カルロ・スカラホール）で総会が、13時より開催されました。

今年は、青梅・国分寺・国立・清瀬地域支部担当。原嶋委員長・沼尻事務局長・福田次長の基、第1回の実行委員会を1月18日に開催、大会スローガン：紫紺魂 明治はひとつ。

コンセプト：明治はひとつをスローガンに校友相互の親睦・母校の賛助・地域社会を幹とした貢献活動を行うと決定した。

今年度の特徴は、協賛寄付を集める・会費は振込制とする・各地域支部の活動写真を展示することである。

当日、10時実行委員集合。11時多摩支部役員・各地域支部受付担当者集合。12時15分受付開始。

総会は、高久みどり（国分寺）氏の司会により、柳澤副支部長（国立）・安田支部長の挨拶で始まる。約30分の挨拶・紹介の後、原嶋議長（青梅地域支部長）の基・議事が始まる。14時28分活発な質疑があり、組織委員会に対する表彰、粕谷副幹事長（清瀬）の閉会のことばで、予定より約30分超過して総会終了。

第2部講演会は、14時40分より引き続き高久みどり（国分寺）氏の司会で始まる。講師は、石河茉美氏（2006年明治大学文学部卒、フリーライターとして日経CNBCキャスター）、演題は「素敵な出会い～取材を通してみえたもの～」です。卒後、山梨放送に入社、スポーツ放送を中心に5年間勤めフリーライターになり、東京に戻る。

脳科学者、茂木健一郎先生とのパネルディスカッションより、幸せは人により違う固定概念で幸せを捉える必要はないと学んだ。

次に、糖尿病と闘う33歳現役のプロサッカー選手、FC岐阜トップチーム所属杉山新選手。

彼は、柏レイソルから、2003年2部リーグの当時引分けを挟み25連敗中のヴァンフォーレ甲府に移籍、11月に風邪をひきなかなか治らないで検査をしたところ糖尿病を発症し、何とか1ヶ月で退院、治療しながら練習生となる。

その後現役に復帰、見事チームをJリーグに導いた。大宮アルディジヤー・横浜FCを経て、いまでもFC岐阜の現役選手として頑張っています。彼は非常にシャイな選手で、インタビューでもほとんど答えてくれない。その選手が去年後輩選手の為に「絶望なんかで夢は死なない」の本を出しました。夢を届けてくれる選手だと思って居ます。

そして次に、震災で「生き残ってしまった」60代の女性です。

東日本の災害発生時は山梨でラジオの放送中でした。去年の11月南三陸町に行ってきました。復興が進んでないと感じました。そこで出会った60代のおばさんにお会って色々なお話を聞きました。

防災副委員長の彼女は、震災の時三陸町のある会議室で防災の資料を委員長と二人で作っていました。翌週開催の仙台での防災シンポジウムの為に「防災とは助け合いである」との題の資料を作っていました。委員長の津波が来るから逃げろと、自分は片付けてから逃げるからと先に逃げました。

二人の娘と小高い高台にある兄夫婦の家に向かいました。途中、後ろに車イスのお婆さんがいて、自分たちが行く方にそっちに行ったら危ないとの助言があり、兄夫婦の家より高い方に逃げました。兄夫婦も、委員長も、車イスのお婆さんも亡くなつたそうです。

あの時車イスのお婆さんの手を引いていた

ら、もっと早く兄夫婦の家に着いていたら、あの時防災委員長とどうして一緒に逃げようと言えなかつたのだろうと。いまだに当時の事がフラッシュバックするそうです。

おばさんは息子を亡くしています。おばさんは何で生きたんだろう、何で生きているのだろうと日々考えるそうです。

今でも防災委員をやっており、「防災とは助け合いである」と信じて活動してきましたが、今は東北弁で言うと「命てんでんこ」です。大きな震災が来た時は、自分の命は自分で守る、小さな子でもお年寄りでも皆がそれぞう思わないと、残された者が生きる希望を失って、結果命を大事に出来なくなってしまう事に気付いたそうです。

この話は地元の人達に出来ない。4人も家族が残っていてと言われそうだから。おばさんは他からやって来た人にこの話をしていると言っていました。

被災地に行き広がっていたのは自分が想像してのとは全然違う現実でした。一人のアナウンサーとして、一人の人間として、人の話しを伝えるとか、橋渡ししか出来ません。ポリシーをもって仕事が出来たらと思っています。

今自分があるのは、明治大学のおかげだと思っています。良い友達や先輩に恵まれ、今日のこういう機会を与えて下さった先輩方には心から感謝します。

15時20分終了。懇親会は、会場設定後15時40分、川寄総務委員長の司会で始まる。

向井眞一校友会副会長の挨拶、東京都南部支部坂井道男支部長代行の乾杯に続き、新潟県支部田代和孝支部長の全国校友新潟大会のPRがあり、新設地域支部・未組織地域支部の紹介で懇親になった。

16時20分よりアトラクションとなり、最初に寿美若緑社中の舞踊、吉野悠我の歌とトーク、ファイナル合唱歌、三森校友指導の明大節と続いた。明大節には、立川地域支部提供の和太鼓が使われ、立川地域支部に石川栄美氏の色紙が渡された。



17時13分、瀬戸校友のリードで校歌斎唱、万歳三唱、西山幹事長のお礼の言葉、来年度の総会日程紹介を以って閉会となりました。

第13回ゴルフコンペのご案内

日 時 平成27年10月19日（月）

OUT・IN同時スタート 5組づつ

場 所 昭和の森ゴルフコース

競 技：国分寺・国立・福生地域支部と共同開催

担当：野 村 庸 夫

平成26年度日帰り旅行

先輩と併に 神田・上野界隈回観

粕 谷 旭 (昭42年 法卒)

白雲なびく駿河台、秋晴れの素晴らしいよき日に、立川支部の日帰り旅に参加しました。

母校拠点の御茶ノ水駅から神田明神・湯島天満宮・不忍池弁財天・上野精養軒のコースで徒歩でしたが、橋本支部長を初め、先輩の皆様は健脚ぞろいで、道すがら、先輩からの在学時代の貴重なお話や日々の情報交換などをすることができました。また上野精養軒での美味しいランチを囲んで和やかに楽しく先輩からのお話を聞き大変有意義がありました。わが母校明治はやはり一つにまとまっているのだと実感しました。小生としては、このような場所が徒歩で行けるとは在学中はつゆ知らず改めて認識した処ありました。

さて、最近の母校に目を転じて見ますと、建学の精神である、権利自由、独立自治、個を強め、世界をつなぐ未来へを正に実践して、中野

キャンパスを平成25年に開設し、総合数理学部も設置。駿河台には、グローバルフロントとして、文部科学省のスーパーグローバル大学創成支援事業に選ばれたことは、国際化と研究の強化など国際的な通用性と教育の質的高さに寄与するものと期待するところあります。また民間の調査企業による関東エリアの志願したい大学ランキングで母校明治が6年連続1位獲得。さらに、スポーツでも、昨年度秋季6大学野球で優勝、ラグビーでも上位となり、箱根駅伝では、往路を64年ぶりに2位でゴールし、往路・復路の総合成績で4位に入るなど、文武両道の揺るぎない総合大学に進展しており、私も卒業生としてまた先輩として自負するところです。

今回の日帰り旅行に参加して、良き先輩たちに恵まれ、大変有意義に過ごすことができ感謝しております。また、このような企画をして下さいました役員の皆様に厚く御礼申し上げます。

孔子曰く「七十にして心の欲する所に従い、矩をこえず。」大変実り多き日帰り旅行であり、母校明治の結集力を再認識しました。有難うございました。

お茶の水から千鳥ヶ淵を歩こう

母校の南側、神保町、靖国神社、千鳥ヶ淵を散策しませんか

- ◎日 時 平成28年3月末日
- ◎集合場 所： JR立川駅 改札口
- ◎ルートと距離

立川 — 御茶ノ水 — 神保町 — 千鳥ヶ淵 — 赤坂見附
— 立川

- ◎食事処 未定
- ◎担当 守重 芳樹

会員だより

山歩きに魅せられて

宮原恒男（昭41年法卒）

立川支部会員の宮原です、よろしくお願ひします。

私は、里山に囲まれた鄙びた山村で生まれ育ちました。その頃は、これといった遊びもなく近所の友達と学校帰りに道草して鎮守の森で野鳥を追ったり、木の実を取ったりして日の暮れるまで山野を駆け回っていました。この田舎で過ごした幼年期の里山歩きが、歳を重ねても体に染みついており、私の趣味になりました。

上京して暫くは東京の生活に馴染むことが精一杯で、山歩きどころではありませんでしたが、卒業して数年、職場の方々と奥多摩の御岳山へ行く機会が訪れました。一人で味気ないアパート暮らしをしていたこともあったのか、これが、忘れかけていた山歩きを始めるきっかけになりました。

当時は、特別な登山用具もなくリュックに軽食を入れただけで、一人で体力に任せて上っていました。一人で登った最初は、皆に連れて行つてもらった奥多摩の御岳山にしました。若干の不安感を抱えながらも無事に下山して祝杯を挙げたことを昨日のように覚えています。

都会暮らしで溜まったストレスを発散し、よい気分転換にもなり、山歩きに対する自信のようなものが芽生えたように感じました。これを契機に偶にしか行けませんでしたが、一人で行程を計画する楽しみや未知の場所へ行く期待感もあって、中央沿線や奥多摩の山を中心に登っていました。

しかし、これも転勤等により僅かの期間で終わり、封印したわけではありませんが、いつしか山は遠い存在となっていました。

それから数十年を経て定年を迎え、さて、これからどうするかと思っていた矢先、偶々、某山岳連盟主催のトレッキングスクール生徒募集を目りました。これだと思い基本から学ぼうと応募しました。募集年齢制限ぎりぎりでしたので躊躇する気持もあったのですが、勇気を出して参加し、若い人に交じって訓練に励みました。家内からは、何時まで続くかと冷やかされての出発でした。

スクールは、4月の春山編から夏山、秋山、冬山編と続き、それぞれが座学と実習の組み合わせで、とてもよい勉強になりました。最初の春山編1回目は、残雪期の北アルプス西穂高岳でした。腰まで雪に埋まる残雪の中を、先頭でラッセルしたり、後方についたり交代しながら喘ぎ喘ぎ懸命に登りました。初日は中腹の山小屋まででした。

夜、一人山小屋を出て、吹雪交じりの寒風が吹く満天の星空の下に立ったとき、40年余の勤めを無事に卒業できたことへの感謝の気持とともに、これまで味わったことのない解放感に浸りました。その晩は、着のみ着のまま、男女雑魚寝で寝返りも打てないような混雜した大部屋で横になりました。

朝早く起床して山頂までは行きませんでしたが目的地まで登って下山しました。体力的にかなりきついところや、スリリングな場面もあり大変でしたが、心地よい新鮮な山の空気に触れ、登山への思いが益々強くなっていました。

夏山で大汗をかき、紅葉に彩られた北アルプスに感激した秋山を経て、最後に冬山の銀世界に魅了されて1年間のスクールは終了しました。

その後は、同連盟の方が主宰するクラブや地元の同好会に加入し、また、百名山踏破を目指し単独で楽しんでいます。自然に直接触れる清々しさや小さな達成感を求めて、これからも続けていきたいと願っています。



第10回『地域支部合同コンペ』に参加して

曹 信 虎 (平9年 農卒)

4月15日、昭和の森ゴルフコースで開催の第10回明治大学校友会・国立・立川・国分寺地域支部合同ゴルフコンペは天候がとても素晴らしい日に恵まれ、本当にゴルフ日和だった。多摩支部初出場で何も考えず気軽にプレーを心がけました。

これで昭和の森ゴルフコースは5回目ですが、全くコースを把握出来ず、今まで相変わらずボールはあっちこっちに飛んで、OBに入ってしまうので、今日は方向性を重視しました。飛ばし屋だから飛距離は問題ない。ドライバーを良く振れば良い。今日はボールがまっすぐ飛んでもくれた。何か気軽に気分になった。半分コースを回って、まだOBが出ないので、思ったより安定したスコアが出た。同じ組の先輩の連続パーを見て羨ましかった。前半は満足する打数だった。昼食が楽しかった。

前半のスコアが良いので大切に後半も頑張ろうと思った。ドライバーが気持ち良く振れ、ボールが飛んでもくれた。ホールアウトが近づい

て、先輩とスコアがいつもと違って差があまりなかった。もしかすると優勝かと話題になった。しかし、立川地域支部は優勝経験者が多く、いつもブービーメーカーなので優勝はないと思った。さらに初優勝はない。

プレーは楽しく出来た。本当にOBがなかった事が、何よりも嬉しかった。成績結果を聞いて全く自信がなかったので、本当にびっくりしました。ハンデにも恵まれ初準優勝出来ました。今の状況で、100を切れればいいなと思っていたくらいだった。それだけに準優勝は想定外で準優勝という栄誉をいただけて、本当に感謝しています。

立川地域支部がもう一度祝宴をしてくれてさらに嬉しかった。今がゴルフの一番楽しい時だと感じており、どこのゴルフクラブに行っても、楽しいゴルフが出来ればと思います。

優 勝 本橋 巧 国分寺地域支部
準優勝 曹 信虎 立川地域支部
3 位 中西 宣二 国分寺地域支部

第11回『地域支部合同コンペ』で優勝！

石 津 智 志 (平2年 商卒)

昨年、12月18日、昭和の森で開催された、第11回明治大学校友会・国立・立川・国分寺地域支部合同ゴルフコンペにおきまして、優勝の栄誉を頂きました。くしくも、同日、私の誕生日であり、良きお祝いとなりました。ありがとうございました。

ここ10年、仕事での付き合いをスタートに、ゴルフを始めるに至りました。その中でコンペのお誘いもありましたが、優勝にご縁はありませんでした。実際、社会の中で、一緒に汗をか

けるコミュニケーションツールとしてのゴルフの素晴らしさには気付きましたが、勝ち負けとしてのゴルフは忘れていたのも事実です。

私自身、ハンデ・グロスに関わらず、もともと勝負にこだわる性分です。又、日常でも勝った負けたの表現が多いのも実際です。

勝ち負けは、事、仕事の世界、社会においては、どちらかといえば品のある言葉・事柄とはなりにくいのではないかでしょうか？

多分、勝ち負けとは、はたまた優勝とは、本来、

青春と対になるものかもしれません。

私も、地元四国・川之江での学生時代、剣道に明け暮れ、いつもそばにあった優勝カップが、その当時の勝ち負けの歴史で、紐解けるようにも思います。

日々の鍛錬は目指すべきライバルに向けたもので、竹刀の一振り、一振りに、その顔がちらつき、負ける悔しさ、勝つ喜びに一喜一憂する日常でした。

今、立川に総合解体業の会社を構え、23期を迎えるとしています。こうして東京で事業をさせて頂く中で、お客様の喜びを礎に、社員とともに嬉々として働く日々です。ただ、簡単に勝ち負けのジャッジがある世界ではなく、一現場、一現場、よりお客様に喜んで頂ける施工

を目指し、答えを模索、更新してゆく毎日です。この先に仕事の優勝カップがあるものと信じ、邁進して行ければと考えております。

最後になりますが、歴史ある「潮」の掲載依頼に感謝すると共に、立川マンドリンクラブ定期演奏会と同様、明治大学校友会多摩カップの今後の発展を祈り、雑文をしめさせて頂きます。尚、優勝を思ううち、ゴルフ談義とはかけ離れてしましましたこと、諸先輩方に大目に見て頂ければ幸いです。

第11回三地域支部合同コンペ成績

優 勝	石津 智志	立川地域支部
準優勝	鹿島 岳志	国分寺地域支部
3 位	山下 誠治	国分寺地域支部

第6回 多摩支部主催 「地域支部対抗ディスクゴルフ大会」に参加して

中 島 尚 二（昭43年 工卒）

平成27年3月28日、立川の昭和記念公園にて多摩支部主催の第6回多摩支部地域支部対抗ディスクゴルフ大会が行われました。

例年、寒風の中で行ってきましたが今回は風も日差しも穏やかの中でプレーすることが出来

ました。

参加者も過去最高の16地域支部、72名の参加がありました。

立川からは橋本、伊藤、渋田、和田、野村、大井、守重、古賀、曹の各氏と私の10名で参戦し、



表彰式から宮原さんが参加しました。今回から団体戦は各チームの上位4名の合計で勝負することとなり、立川のように大勢で参加するチームには有利になったようです。

成績は別表のように大井さん、曹さん、和田さん、野村さんの4名が上位に入り堂々の準優勝でした。優勝は猛練習をして大会に臨んだ日野地域支部でした。しかしその差は僅か4でした。

特筆すべきは女性の部で立川チームの紅一点、古賀さんが2位に5差をつけ、ぶっちぎりの優勝を果たしました。

人様のことはさておき、私もスコア51で順位も51と快挙をなしたと思ったが、一緒に回った国分寺の佐藤泰三さんも52で52位でした。自慢できる事ではなかったようです。

表彰式と懇親会は昨年、多摩支部の忘年会で好評だった、野球好きのマスター（自称 監督）の「ベースボール」で行い、締めは名物の東京ドームオムレツを美味しく頂きました。

最後はカラオケで校歌齊唱と守重副支部長の指揮で「フレーフレー明治」と「フレーフレー多摩支部」をして散会しました。

国立地域支部の若村さんより写真、沼尻さん日野地域支部の江面さんより成績表を頂きました。ありがとうございました。

地域支部対抗ディスクゴルフ大会 個人戦順位

地域支部	氏名	スコア	順位
日野	青木 寛司	33	1
町田	向井 淳	35	2
青梅	永澤 由紀夫	37	3
福生	渡邊 裕	37	4
日野	小山 敦	37	5
村山	広田 将	38	6
立川	大井 邦彦	39	7
福生	設楽 一彦	40	8
立川	曹 信虎	40	9
国分寺	柴原 力	41	10
多摩市	藤川 忠博	41	11
府中	石阪 康平	41	12
あきる野	尾暮 徹	41	13
村山	高橋 薫	41	14
日野	山口 一男	41	15
立川	和田 清	42	16
立川	野村 康夫	43	17
村山	野口 文雄	43	18
国立	若村 和之	43	19
清瀬	和田 人男	44	20
国分寺	中西 宣二	44	21
国立	土屋 栄一	44	22
立川	橋本 直樹	45	23
三鷹	安藤 正喜	45	24
府中	河内 進一郎	45	25
青梅	木下 政明	46	26
多摩市	伊東 勝義	46	27
清瀬	佐藤 房夫	46	28
町田	太田 東平	46	29
青梅	鈴木 彰	46	30
府中	小柳 文男	46	31
国立	塚越 信雄	46	32
府中	田村 登	46	33
国立	柳澤 正長	47	34
国分寺	西山 強	47	35
多摩市	鶴田 勇雄	47	36

地域支部	氏名	スコア	順位
小平	當麻 功	47	37
清瀬	丸山 隆	47	38
武蔵野	伊藤 則義	47	39
立川	古賀 孝子	47	40
青梅	原嶋 正太郎	48	41
国分寺	菊池 豊	49	42
小平	植原 幹男	49	43
村山	加賀美 進	49	44
日野	須藤 英一	49	45
日野	荻原 松年	49	46
立川	伊藤 博	50	47
小平	土井 隆夫	50	48
日野	江面 利和	50	49
国分寺	信保 五郎	51	50
立川	中島 尚二	51	51
国分寺	佐藤 泰三	52	52
多摩市	安波	52	53
福生	原島 貞夫	52	54
国立	星野 稔子	52	55
国分寺	堀田 清則	53	56
青梅	山田 靖明	53	57
国立	岸水 信之	53	58
あきる野	石川 満久	53	59
立川	守重 芳樹	54	60
国分寺	出渕 恵介	54	61
福生	山田 健一	55	62
清瀬	中島 光永	55	63
清瀬	斎藤 強	56	64
国立	小林 孝一	57	65
国立	鈴木 三恵子	57	66
立川	渋田 幹雄	58	67
多摩市	桜田 成美	58	68
多摩市	岩淵 義郎	61	69
村山	安田 晴	62	70
清瀬	福田 尚也	64	71
国立	沼尻 哲	64	72

団体戦順位表

地域支部	上位4名合計	順位
日野	160	1
立川	164	2
村山	171	3
青梅	177	4
府中	178	5
国立	180	6
国分寺	181	7
福生	184	8
多摩市	186	9
清瀬	192	10

東京六大学野球 秋季リーグ戦 明治大学 対 早稲田大学 観戦記

スポーツ愛好会事務局
沼 尻 哲（国立地域支部）

今朝（2014年9月29日）新聞のスポーツ欄を開くと、明大柳1安打完封!! とありました。

午前8時30分、いつもより早めに自宅を出て神宮に向かいました。

紫紺の日（紫タオルのプレゼント）でもあり、応援席は見る見るうちに一杯となり最終観客動員1万2千人とのこと。

1回表 福田凡退のあと2番植田がフォアボール、高山ヒット（3年で通算83安打現役トップ・東大戦で3安打、更に早稲田戦で3安打合計89安打。三年時の100安打、その上は懐かしい高田繁のリーグ記録127安打）。

つづく4番糸原もヒット、球足強く3塁でトップ、ワンアウトフルベース、ここで5番石井が逆風の中レフトオーバー満塁ホームラン。効率よく4点先取、早速、紫紺の歌へ。

2年生の柳、始めはボール先行、5与四球を出すもセカンド糸原・サード植田らのバックの攻守にも助けられ8回ツーアウトまでノーヒット・ノーラン。

しかも早稲田相手に。

代打、石井にセンター前ヒットされてしまい大記録は、のがしてしまったものの、要所要所を締め、最速145キロの直球を駆使し、見事リーグ戦初完封勝利を手にしました。

9回、これまで当たっていなかった1番4年生の福田がヒットで出塁した二人を置いてなんとライトスタンドへスリーランホームラン。本日全得点をホームラン絡みで稼ぎ出しました。

2年生の甲子園投手・柳は147球の大熱投・リーグ戦初完投を1安打完封勝利で飾った。東大戦以外で2連勝・勝点1も久しぶりとは応援団がコメント。

観戦、11地域支部、28名参加
国立5 国分寺5 小金井2 小平2 立川2
東久留米1 日野4 福生3 町田2 三鷹1
村山1

エール交換後、爽やかな足取りでいつもの明治記念館・竹游林へ。

今日のハイネケン・エクストラ生ビールはとっても冷えていてこともあり、このほか美味しかったです。

秦校友（明治記念館職員・国立幹事）より5年もの紹興酒・さらにマンゴープリンの差し入れもあり盛り上がり最高でした。

懇親会は、20名参加

10月26日の立教戦、第2試合（順調に行けば優勝決定試合）と、12月7日のラグビー明早戦での再会を約束し、関東一本締めで散会いたしました。



42年ぶりの伝統の地 秩父宮で BKの早稲田に完敗

スポーツ愛好会事務局
沼 尻 哲 (国立地域支部)

2014年12月7日 日曜日開催 関東大学ラグビー対抗戦明早戦観戦記

改築前の国立競技場で最後の明早戦となった昨年の46,961人から21,602人に減ったとは言え、ほぼ満員で、外苑前では、ダフ屋が出ているほどの入場券は、ややプラチナに戻りつつあるように思いました。

ところが、試合に入ると安心して応援が出来たのは梶村のトライで10-0とした時まで。BK陣の機能全開、本調子でなかったとはいえば日本代表FBの藤田の攻撃力が生かされ、前半28分、明治の守備陣を藤田に引き付けておき、小倉に回し40メートル走りトライ。

後半12分にもキックをキャッチし同じく40メートルの独走を許しトライされた。

伝統の明早戦という重み、小倉・藤田へのマークが殆ど出来ていなかつたこと、ボールへの執念…タックルされたときのサポートが悪く、ボールを何度も簡単に取られてしまっていたこと、明治の看板である“重戦車FW”も後半のスクラムでは押し返されていたこと。

また、余談ですが電光掲示板の前・立見席の北スタンドで0-10でリードされていても懸命に赤黒の旗を振っていた早稲田応援団…大いに見習わなくてはと思いました。

いずれにしましても近年にない完敗、(24対37) 早晚立て直しを図り、14日から行われる大学選手権で早稲田と当れば、今年強いイメージを見させてくれたその力で一矢を報いてほしいものです。

多摩市を含め11地域支部105名の大応援団、そして懇親会41名のご参加お疲れ様でした。(ボールは手に取り、走ってなんばです。)

対抗戦は5勝2敗で第三位 優勝の帝京大、早稲田、明治、慶應、筑波大の5校が全国大学選手権2次リーグに出場する。

明早戦 通算対戦成績は明治の36勝52敗2分です。

また、多摩支部差入れのあおやまやき(ピーナッツの今川焼き)はいかがでしたか。

明高・明大商卒、太田垣社長の青山・但馬屋製あります土曜日のTV番組“旅サラダ”で紹介されておりました。

